

経営に活かす決算書の読み方

～簿記の知識がなくてもわかる 利益が出る仕組みと企業が取べき対応～

「どこに手を打てば利益が出るのか」「取引先の経営状態はどうなっているのか」——。利益を確保し続けるためには、決算書（損益計算書(P/L)、貸借対照表(B/S)、キャッシュフロー計算書(C/F)）のつながりを理解し、自社や取引先の財務状態や経営成績、資金繰り状況等を把握して的確な対処法を考えることが必要です。本講座では決算書の数字の意味や簡単な経営指標を理解することで、簿記の仕組みを知らなくても経営改善の勘所がわかるよう解説します。

◆日時：**令和2年9月1日(火)午後2時～4時**

◆場所：大阪商工会議所6階「白鳳の間」 大阪市中央区本町橋 2-8
最寄駅：OsakaMetro「堺筋本町」又は「谷町四丁目」徒歩

◆定員：50名(定員になり次第、締め切ります)

◆受講料：会員：無料、非会員：5,000円(当日ご持参ください)

◆講師：エクジット株式会社 代表取締役 公認会計士・税理士 **加藤 弘之 氏**

◆内容：1. 財務3表（損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書）のつながりを理解する
～財務3表のどこを見れば何がわかるか～
決算書(B/SとP/L)は経営の静止画像、経営(ビジネス)の流れ、B/SとP/Lで何がわかるか
2. 経営状況を理解する決算書の見方、読み方
～企業がいくら儲かっているか、資金繰りは大丈夫か、効率の良い経営をしているか～
P/L(会社の儲け具合)の構造、B/S(会社の財産)の構造、C/F(お金の流れ)の話
3. 決算書からわかる企業の財務体質と経営課題の見つけ方
～自社の現状と将来性を知る、取引先の倒産リスクはどれくらいか～
回転率、投資効率、損益分岐点分析(固定費と変動費)、労働生産性分析、PDCAサイクルを回す

<お申し込み> ◆下記の申込書に必要事項をご記入の上、中央支部までFAXにてお申込みください。

◆講習会開催1週間前頃に受講票をお送りいたします。

◆申し込み後、キャンセルされる場合は必ずご連絡ください。

◆<問合せ>大阪商工会議所 中央支部 (担当:坂野、宮)TEL06-6944-6433

<対象> ◆大阪府内の中小企業者・小規模事業者等

<お願い> ◆本事業は大阪府の小規模事業経営支援事業費補助金の一部を受けて実施しているため、大阪府へ実施報告をいたします。講習会参加の際には、必ずアンケートにご協力賜わり、事務局まで提出ください。

アンケートをご提出いただけなかった場合、後日メール・FAX等でご連絡申し上げますことをごぞいませ。ご了承ください。

<持参品> ◆電卓をご用意ください(電卓がない場合でも受講は可能です)。

申込書

★FAX:06-6944-6434大阪商工会議所中央支部宛

【9/1】経営に活かす決算書の読み方 受講申込書

会社名				会員番号			
住所	〒						
電話	FAX		e-mail				
業種	資本金		万円		従業員数	名	
フリガナ氏名①	フリガナ氏名②						

※ご記入頂いた情報は、本事業の事務業務に利用するとともに、大阪商工会議所の各種連絡・情報提供(eメールによる事業案内含む)に利用します。また大阪府(事業費補助金交付元)、講師へ参加者名簿として提供します。これらについては申込者ご本人に同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。